

3 目次/SAP INFO読者の皆様へ

4 あらゆる壁を越える
ビジネスネットワークの実現特集: **戦略的俊敏性を支援する
Business Intelligence**6 統合シナジーが生み出す
BI活用の新たな境地8 特集事例①: セイコーエプソン株式会社
業務プロセス改革に主眼を置き
グループ全体で情報活用基盤を強化10 特集事例②: アストラゼネカ株式会社
新たな経営ダッシュボードを構築し
全社のKPIをモニタリング12 パートナーソリューション: 日本電気株式会社
未来へのパートナーシップ15 中堅・中小企業 成長と存続の法則:
画期的なSAPのERP導入プログラム16 JSUG (SAPジャパン・ユーザー・グループ):
SAPソリューションに関わる
すべての人のために

22 SAPジャパンからのお知らせ

■ 広告企業一覧

株式会社ソフテス2
日立SC株式会社14
株式会社日立製作所17
インテリグループジャパン株式会社18

富士通株式会社/マイクロソフト株式会社20
アビーム コンサルティング株式会社23
ウィプロ・テクノロジーズ24

SAP INFO読者の皆様へ

CFOに求められる役割と現在取り組むべきこと

SAPジャパン株式会社
代表取締役 最高財務責任者
井野 勢津子

激変し続ける世界経済の中で、先行きを見通すことはますます困難な状況になっています。ここで改めて「企業のCFOとして果たすべき役割」について考えたいと思います。

CFOには本来、2つの役割があります。第1に、自社のガバナンスやコンプライアンスを徹底するなど「ステークホルダーの利益を守ること」です。第2に「企業価値向上に向けて取り組むこと」として、日常的な会計活動や戦略策定の支援などがあります。CFOは常に2つの役割のバランスを考えながら、時代や市場の状況に応じて、さまざまな判断を行う必要があります。昨今のような経済状況においては、事業継続性を考えて後者に比重を置き、利益向上に全力で取り組まなくてはなりません。しかし売上げ優先ばかりではなく、前者の役割も念頭に置きながらの判断は、非常に難しいことでもあります。CFOの業務は、車の運転にも例えられると思いますが、状況に応じて対処する柔軟性と、方向性を定めるとともに、軌道修正をしながら進み続けるという判断力が重要です。またSAPジャパンのCFOとしては、日本の情報をリアルタイムかつ正確に発信し、

会計上の透明性を保ち、グローバル企業の一部として活動していくことが最重要課題であると考えています。

お客様には、先行き不透明な状況でこそSAPのソリューションを活用していただきたいと思っています。私自身が日々実感していることですが、さまざまな情報が分散している環境では、会社の置かれている状況を瞬時に把握するのは困難です。しかし包括的に正確な情報が自動的に集約されるシステムを活用することで、どこにコストがかかっているか、どのような意思決定が必要なのかをすぐに把握できるようになり、レスポンスの速さは劇的に向上します。コンプライアンス上のリスクを自動検知できる点も、社会的責任を果たす上で大きく役立ちます。お客様が、SAPの仕組みを使ってさらなるリソース活用やさまざまな変革に一步踏み出していただけると願っています。

これからも、さまざまな変化に取り組まれるお客様の事業継続、発展のお手伝いができれば幸いです。今後ともSAPをどうぞよろしくお願いいたします。